

3類型	鋳工業品及びその生産技術	番号	3
地域資源名	伊万里・有田焼	認定日	平成19年11月16日
地域	佐賀県西松浦郡有田町	所管省庁	経済産業省

事業名： 明治伊万里復刻製品の開発と販路開拓

会社名：有田製窯株式会社

所在地：佐賀県西松浦郡有田町黒牟田丙
3037-8

連絡先：TEL：0955-43-2224

FAX：0955-43-2580

H P：http://www.gold-imari.com/index.html

事業概要(新たな活用の視点)

- ・有田焼のブランドを守るためには、職人の技術の継承と高付加価値製品の開発による新たな需要の掘り起こしと販路開拓が急務。
- ・技術と伝統美、西洋文化との融合によって「和魂洋才」に成功した明治期の有田焼の忠実な復刻による高付加価値製品で、消費者の有田焼への再評価と新たな需要喚起を目指す。
- ・富裕層や有田焼コレクター向けのほか、海外の展示会出展による宣伝効果の活用で、世界需要を開拓と百貨店の外商ルート等での市場開拓を図る。



【“明治伊万里”の復刻プロジェクト】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・新商品、新サービスのコンセプト

製土は有田泉山の陶石を主原料とし、釉薬は可能な限り明治期に使用されたもの。また、絵付け技術の伝承を主目的とするため、総手描きとすること等に独自性。

・競合製品との優位性

有田の泉山陶石を使って明治期の有田焼を復刻する独自の製品であり、競合製品、類似品はない。

◆市場性

- ・復刻技術と現代のニーズで市場にマッチした製品を開発し、市場に提供。富裕層や有田焼コレクター等をターゲットに、3年後に7千万円を売り上げ目標とする。

◆販路

- ・歴史性を持ち、高品質の商材であるため、有田地域の歴史と文化をからめた販売戦略を採る。百貨店の外商ルート、高級通販等、説明付きの販売を予定。



【色絵竹文洋食器】

地域資源における関係事業者との連携

- ・佐賀県窯業技術センター、有田商工会議所、大有田焼振興協同組合、佐賀県中小企業団体中央会他と連携。